



一般社団法人 神奈川県作業療法士会

# 神奈川県作業療法士会 ニュース

2016年1月 No.177

## Contents

<b>TOPIC</b> 神奈川県作業療法士会広報部ニュース掲載作品募集 …	1	各部からの報告 …	8
<b>TOPIC</b> 新設部署紹介 …	2	研修会案内 …	9
理事会報告 …	3	連載 生活行為向上マネジメント …	10
4年ぶりの神奈川県臨床作業療法大会が開催されます！ …	4	求人案内 …	11
<b>TOPIC</b> 第2回神奈川県臨床作業療法大会演題募集要項 …	5	訃報 …	12
スポットライト～OTの生き方～介護支援専門員編 …	6	ニュース掲載作品大募集！！ …	12
ニュージールランド学会3人男旅 …	7	編集後記 …	12



## 神奈川県作業療法士会広報部 ニュース掲載作品募集

神奈川県作業療法士会広報部ニュース班部員  
桜井 大和、山岡 洸

### あなたの対象者様の作品を応募しませんか？

神奈川県作業療法士会ニュースは、県内の作業療法士会会員の皆様に2ヶ月に1回ニュースをお届けさせていただいております。今までの県士会ニュースは会員様を対象に神奈川県全域での活動報告や理事会報告、各部からの報告、MTDLPや認知症などの伝達事項や学会、研修会のお知らせなど会員様にとって必要な情報を共有するため作成してまいりました。近年Webの発達もあり情報収集・共有の形が変化していき、紙面で発行しているニュースのあり方も変化させていく必要があると感じました。今後は対象を会員様だけではなく病院、施設、地域など作業療法士が対象としている方々も含めて本誌を発展させていければと考えています。

そこで広報部よりニュース掲載作品の募集をしたいと考えております。この作品募集の目的は、活動

報告等だけを載せる媒体や情報を確認するだけの紙面ではなく紙から伝わる暖かさを大切に、さらに手に取り易く目を惹きつけるニュース誌を作る事です。また普段会員様が対象としている方々から作品を募集し掲載する事で病院、施設、地域など様々な分野でご活躍のOTと対象者と他職種の方々との話題の一部になる事や対象者様の満足感や達成感に繋がるのではないかと考えています。なお、メ切・具体的な応募方法はWEBよりお知らせ致します！！

初の試みのため様々な意見があると思いますが、広報部員として今まで以上に皆様に手に取りやすい見やすいニュース誌を作りたいと考えています。皆様からの作品をどしどしお待ちしております。ご理解・ご協力の程宜しくお願い致します。

## 新設部署紹介

### 新設部署の名称：認知症対策委員会

#### Q1. どのような部署ですか？

今期理事会の新体制の中で新設された特設委員会です。県民、地域住民の方々に認知症への理解を深めるための普及・啓発活動や、認知症の予防、認知症のリハビリテーション、認知症のケア等専門職としての支援活動、地域の医療・介護などを連携させるための活動等、県士会員の方々の活動を推進していければ良いのではないかと考えています。

#### Q2. どのような経緯で新設されたのですか？

2025年に高齢人口がピークとなり、要支援または介護者が最も増加する事が懸念されています。政府は10年後の2025年には、認知症患者が約700万人（約5人に1人）まで増加するとの推計を発表し、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）を策定しています。新オレンジプランでは「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す。」を基本的考え方に据えています。

国策的に重視される認知症対策について、日本作業療法士協会の活動と共に一早く対応していくために新設されました。

#### Q3. 新設されたことで今後どのようにかわるのでしょうか？

県内の市町村で認知症関連の窓口があったり、行政によっては認知症カフェ（オレンジカフェ）等の認知症対策の事業を展開していたりしています。医師会、薬剤師会などの職能団体や認知症当事者の団体や家族会などが認知症のイベントを開催する等様々な活動があります。県内の地域を基盤にした活動に協力できるように、また県士会で活動を展開できるようになっていければと考えています。

9月27日に小田原市で『認知症を認知しよう会』が（認知症を認知しよう会イベント実行委員会主催で）開

催されました。そこにお邪魔してみて認知症に関心のある方が多いこと、また認知症についての啓蒙活動が県内各地で開かれるといいのにと感じました。

#### Q4. 研修会などの予定を教えてください。

今年度は地域リハビリテーション部との共同開催で2015年10月25日に地域リハ人材育成研修会が開催され、認知症初期集中支援チームについて群馬医療福祉大学の山口智晴先生よりご講演頂きました。

研修会の中で、とにかく自分の働いている地域の情報を知らない事、近くの作業療法士の存在も知らない事が感想に上がっていました。来年度に向けて、住み慣れた地域の作業療法士がその地域で活動する為の一助になるような研修会を今後計画できたらと思っています。

#### Q5. 部署について教えてください

委員会の部員を集める為に地域リハ人材育成研修会で声を掛けさせていただきました。その会場で名乗りを上げて下さった方が5名いらっしゃいました。大変ありがとうございました。理事より紹介があったり、個人的に部員となりますと言って下さった方がいたり、目下、新部署作成中です。

認知症について一緒に勉強したい、認知症の活動について何かやってみたい、なにが県士会活動に参加してみたい、という方募集中です。

#### Q6. 県士会員の皆様にメッセージをお願いします。

寿命が延びている中で健康寿命との差が10年程有ることも残念なことです。心身共に健康寿命を延ばす事、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりをすること、それを地域で援助する作業療法士と一緒に目指していきたいでしょう。

(文責：村越妙美)



# 平成27年(2015年)度 第3回理事会議事録

日時 平成27年11月12日(木) 19:00～20:40

場所 神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、澤口、福留、作田、野本、吉本、遠藤、内山、鴻井、神保、村越  
 欠席理事：中西、奥原、野々垣、木村、鈴木、名古屋、佐藤 出席監事：清宮、田中  
 その他：金山・池田・大郷・井戸川(事務局：書記)

## ●報告・検討事項

### 1. 事務局(福留事務局長)

#### (1)報告事項

- 1)後援名義使用依頼
  - ・神奈川県在宅医療推進フォーラム運営委員会より市民公開講座
  - ・リハビリフェスタ2016 県西部地区リハビリテーション連絡協議会

#### 2)庶務関連

10月6日事務員松村啓子氏が勤務(会計係り)

#### 3)平成28年度 総会の件

- ・平成28年5月14日土曜日
- 場所：ユニコムプラザさがみはら(相模原市南区相模大野3丁目3番2号 bono 相模大野サウスモール3階)

#### (2)審議事項

- 1)再入会の審議  
4名の再入会→承認

### 2. 財務部(福留事務局長が代理で報告)

#### (1)報告事項

来年度予算編成の工程

#### (2)審議事項

部員1名追加→承認

### 3. 学術部(鴻井理事)

#### (1)報告事項

- 1)スキルアップ研修事業(講習会)
  - ・「高次脳機能障害の基礎～半側空間無視・記憶障害編～」早川裕子先生 参加者81名
- 2)研究助成事業
  - ・赤塚花実：『意味のある作業への参加促す作業療法の治療戦略に関する研究』⇒内定

### 4. 教育部(福留事務局長が代理で報告)

#### (1)報告事項

- 1)研修会開催報告
  - a 現職者共通研修
    - ・10月10日(土)10月11日(日) 場所：横浜リハビリテーション専門学校 参加者 計248名
  - b 事例報告登録制度に関する研修会
    - ・10月11日(日) 46名

#### (2)検討事項

部員承認 1名→承認

### 5. 広報部(神保理事)

#### (1)報告事項

- 1)一般県民向けの企画：ハローヨコハマ 医療連合会合同ブース出展
  - 澤口副会長・名古屋理事が医療連合会事務局として参加、対外広報班4名参加

### 6. 福利部(吉本理事)

#### (1)報告事項

- 1)新入会員オリエンテーション&歓迎会：参加者 会員

34名、理事・役員9名、福利部9名(計52名)

#### 2)表彰関連

- ・神奈川県保健衛生表彰  
浅井憲義先生(医療法人社団永生会 永生クリニック 研究開発センター、北里大学名誉教授)
- 3)新入会員増加推進企画 事務局と合同で検討

### 7. 地域リハ部(遠藤理事)

#### (1)報告事項

##### 1)研修報告

- ・地域リハビリテーション人材育成研修会  
参加者：34名
- ・地域ケア会議に関する情報収集
- ・神奈川県介護予防従事者研修 OT士会協賛で参加
- ・横浜市地域リハビリテーション活動支援事業 11月からモデル地区の2区の地域支援事業が開始

#### (2)審議事項

部員承認 1名→承認

### 8. 制度対策部(野本理事)

#### (1)報告事項

- 1)PTOT 福祉用具スキルアップ研修会 基礎編  
参加者9名
- 2)国際福祉機器展「ふくしの相談コーナー」福祉用具班  
班員10名派遣。3日間で98件の相談に対応

#### (2)審議事項

部員承認 2名→承認

### 9. ウェブサイト管理委員会(作田理事)

#### (1)報告事項

- ・県士会サイトの管理とアクセス件数に関して報告

### 10. 学会評議委員会(内山理事)

#### (1)報告事項

- 1)第16回神奈川県作業療法学会  
学会日時：2017年7月2日(日)
- 2)第2回神奈川県臨床作業療法大会  
大会日時：2016年8月7日(日)

### 11. MTDLP推進委員会(福留事務局長が代理で報告)

#### (1)報告事項

- 1)研修会開催予定：事例発表 1/31(日) 3/6(日)、基礎研修 2/7(日) 3/19(土)
- 2)グランドデザイン  
基礎研修修了者⇒会員数の60%、実践者研修修了者⇒会員数の30%、指導者⇒会員数の5%  
現在(8/31時点)の神奈川県士会の基礎研修修了者数241名 13.7%(会員数1,755名)

### 12. 認知症事業対策委員会(村越理事)

#### (1)審議事項

部員承認 2名→承認



会場 藤沢市民会館

# 4年ぶりの神奈川県臨床作業療法大会が 開催されます！

済生会横浜市東部病院

木下 剛

皆さんこんにちは。第2回神奈川県臨床作業療法大会の広報を担当しています。済生会横浜市東部病院の木下です。本大会は2016年8月7日（日）、藤沢市民会館にて開催されることが決定しています。

皆さん、神奈川県臨床作業療法大会と聞いて「何それ」と思われた方も多いと思います。それもそのはず、この神奈川県臨床作業療法大会は実に4年ぶりの開催となります。神奈川県作業療法士の学会は2年（奇数年）に一回の頻度で開催されています。その間の年（偶数年）を埋める形で規模の小さい学会として誕生したのが臨床作業療法大会です。第1回目の開催が2012年。会場は神奈川県立保健福祉大学でした。第2回目となるはずの2014年は世界作業療法大会（WFOT）の開催年であったため本大会の開催は見送られ、そして今年2016年が第2回目の開催となったわけです。ですから臨床3年目以下のOTの方たちにとっては初めての大会となります。

本大会は規模の小さい学会ですが、教育講演などもプログラムとして予定しています。また藤沢市の後援のもと、認知症サポーター養成講座や市民公開講座も開催いたします。演題発表の枠は15演題と演題発表数は少ないですが、しっかりと議論のできる発表の場となります。実はすでに演題募集が開始しており、演題登録期限が2016年3月31日までとなっております。ベテランOTだけではなく、是非とも若手OTに発表をして欲しいと思っております。初めて学会発表をする方を支援す

るために、大会HPにて「マンガでわかる はじめての学会発表！」というコンテンツを用意しています。臨床研究の方法や抄録の書き方、スライドの作り方などをわかりやすく説明しています。学会発表をしてみたいという若手OTの方たち。是非、学会発表の登竜門としてこの臨床作業療法大会を利用してください。学会発表を行う意味は私たち臨床で働くOTにとってとても重要な作業です。私も臨床3年目で先輩の指導のもと学会で発表をしました。当時はその場から逃げ出したいほど緊張しましたが、学会発表を経験したことで作業療法のエビデンスは私たち作業療法士が作っていくものだということを実感することができ、その後の仕事に対する意識にも大きく影響しました。是非、皆さんにもそれを体験して欲しいと願っています。

さて、最後に広報担当ですので広報のお話を。第2回神奈川県臨床作業療法大会のHPがすでに設置されています。（<http://kana-ot.jp/congress/kccot2nd/>）

神奈川県作業療法士会ウェブサイトにもリンクが貼られておりますのでそこから大会HPへ飛ぶこともできます。またFacebookやLINE@などSNSでも大会情報をお届けしております。是非、そちらでも大会情報をご確認していただきたいと思っております。現在、実行委員一同、半年後の大会開催に向けて、毎月のように会議を重ねて準備を進めております。是非多くの方に足を運んでいただけるような魅力的な大会にしたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

— LINE —



ID 検索 @yss8727t

— Facebook —



— 大会HP —



<http://kana-ot.jp/congress/kccot2nd/>

# 第2回 神奈川県臨床作業療法大会 演題募集要項

## I. 応募資格

筆頭演者（発表者）が神奈川県作業療法士会正会員であることが要件となります。ただし、演題募集の締め切り時点において、筆頭演者が2015年度の神奈川県作業療法士会費未納者の場合、応募資格がありません。応募前に必ず会費を納入して下さい。

## II. 受付期間

2015年12月1日（火）～2016年3月31日（木）

## III. 募集内容と発表形式

### 1. 募集内容

一般演題（口述発表のみ）

### 2. 発表形式

- ①口述による発表で、発表時間は7分（質疑応答3分）です。
- ②ビジュアルエイドとしてパソコンとプロジェクター、Microsoft PowerPointをご用意いたします。発表用データは、事前に「CD-R」に入れて大会事務局に郵送で提出していただきます。当日のデータ差し替えは致しかねますのでご注意ください。

## IV. 演題内容に関する倫理的事項について

### 1. 対象者の同意について

一連の研究過程において倫理的な配慮を十分にとり下さい。また、研究に先立ち、対象者・被験者からインフォームド・コンセントを得るようにして下さい。本文中に対象者の同意についての記載が必須です。また対象者の判断能力低下が考えられる場合（例：重度の認知症者、重度の精神障害者、重度の意識障害者等）は、本人の代理人から承諾が得られた旨を明記して下さい。

### 2. 倫理審査機関の承認について

研究にあたって、所属先機関の倫理委員会もしくはそれに相当する機関の承認（例：所属長等の承認）を得て下さい。

### 3. 著作権等への配慮について

原稿に引用文献を明示し、著作権を侵害しないように注意して下さい。

### 4. 大会長の要請に対する協力について

大会長から、演題内容に関する倫理的配慮に関する文書の提出や説明を求める場合があります。その場合はご協力願います。

## V. 応募方法

### 1. 以下に従って演題応募原稿を作成して下さい。

- ①電子メールにて演題の応募を行なって下さい。
- ②電子メールには以下の次項を記載し、さらに演題抄録原稿ファイル（応募原稿書式ファイルに記載したもの）を添付して送信下さい。  
件名：第2回神奈川県臨床作業療法大会演題応募（氏名）  
内容：1) 筆頭演者氏名  
2) 筆頭演者氏名フリガナ  
3) 筆頭演者の所属機関  
4) 筆頭演者の日本作業療法士協会会員番号  
5) 共同演者氏名  
6) 共同演者の所属機関  
7) 筆頭演者の所属機関の住所（郵便番号も含む）  
8) 筆頭演者の電話番号

※会費未納者（筆頭演者）による応募があった場合、演題は受理されませんので予め御了承下さい。納入状況について不明の場合は、神奈川県作業療法士会事務局へお問い合わせ下さい。  
神奈川県作業療法士協会事務局 TEL：045（663）5997

- ③演題応募アドレスは下記の通りです。  
演題応募用メールアドレス [kccot2nd-entry@kana-ot.jp](mailto:kccot2nd-entry@kana-ot.jp)  
※学会事務局のメールアドレスとは異なりますのでご注意ください。
- ④演題応募の受付完了通知並びに演題採択通知はご応募を頂いたメールアドレスに返信します。よって、携帯電話のメールアドレス等、添付ファイルが開けないアドレスのご使用は控えて下さい。
- ⑤演題抄録原稿の作成にあたっては原稿作成要領を順守して下さい。

### 2. 演題受付番号の電子メール受信

演題応募の際に入力いただいた電子メールアドレス宛に演題受付通知を送付します。演題受付通知が1週間を目処に届かない場合は、演題募集用メールアドレスにお問い合わせ下さい。

## VI. 原稿作成要領

- ①抄録原稿のファイルフォーマットはMicrosoft Word（.docまたは.docx）とします（Microsoft Word）。文字化けや体裁が整っていない場合、再提出もしくは実行委員会です許可無く変更する場合がありますので予め御了承下さい。原稿書式は指定の「抄録原稿フォーマット」を大会ウェブサイトよりダウンロードし、そのファイルに直接上書きをして使用して下さい。なお、余白、文字の大きさ、フォント等の書式は変更しないで下さい。
- ②原稿は、A4サイズ1ページとします。本文（演題名・筆頭演者・共同演者・所属を除く）は2段の段組で全角1600文字程度とします（片段20文字×40行×2列）。
- ③表題のフォントはMSPゴシック14ptとし、演者ならびに所属先はMSPゴシック11ptとし、小見出しMSPゴシック10ptとします。また本文は全角文字「MSP明朝」、半角英数字は「Times New Roman」で、10ptとします。
- ④表題はサブタイトルを入れて2行以内とし、演者名・所属先はそれぞれ2行となっても構いませんが、表題、演者名・所属先で7行以内に収まるよう配慮下さい。演者数については所属先を含め上記規定以内に収まるよう人数を限定して下さい。それ以上の人数を収めるために文字の大きさを変更することは避けて下さい。
- ⑤筆頭演者名の前に○をつけて下さい。また所属についてはフォーマットを参照し、\*付き文字にて記載して下さい。
- ⑥文字の体裁については、はじめに・目的・方法・結果・考察等の小見出しをつけ、それぞれに1. 2. 3. …と番号を振って下さい。
- ⑦句読点は、「,」「.」に統一して下さい。
- ⑧入力される文字により文字化け・脱字等の不具合が生じますので、以下の特殊文字（記号）等の使用は、絶対に避けて下さい（半角英数や他の文字で代用して下さい）。囲み文字、ローマ文字、単位記号、省略記号（例：全角の①② I II III i ii iii mm cm km cc m<sup>3</sup> 駱 炬 翻 字 符 等）等。
- ⑨作成した抄録原稿は、ファイル名を「筆頭演者の氏名」として保存して下さい。  
例）藤沢太郎.docx（※.PCの設定によってはdocまたは.docxは拡張子のため表示されていない場合があります）

## VII. 演題採択基準

最終的な採否は以下の演題採択基準に従って、大会長と企画演題委員の協議のもと決定いたします。

1. 演題内容に関する倫理的事項が遵守されている。
2. 抄録原稿の構成や表現などが適切である。
3. テーマや内容に一定の有用性があり、社会や作業療法の発展に貢献すると判断される。
4. 方法等が具体的に記載されている。
5. 同一、または極めて類似した内容で他学会等において発表されていない。
6. 本学会の「演題募集要領」が遵守されている。

## VIII. 演題採択結果の通知

最終的な「演題採択結果の通知」は、応募から1ヶ月を目処に企画演題委員より電子メール（応募時のアドレスに返信）で筆頭演者宛に通知いたします。

## IX. 基礎研修ポイント

本学会にて演題発表を行った場合は、（社）日本作業療法士協会 基礎研修ポイント2ポイントが付与されます。

## X. 大会ホームページからの情報

演題応募に関して不明な点は、第2回神奈川県臨床作業療法大会企画演題担当までお問い合わせ下さい。

## 第2回神奈川県臨床作業療法大会 事務局

医療法人 篠原湘南クリニックグループ クローバーホスピタル リハビリテーションセンター  
〒251-0025 神奈川県藤沢市鶴沼石上3-3-6 TEL：0466-22-7172（リハセンター直通）  
E-mail：[kccot2nd@kana-ot.jp](mailto:kccot2nd@kana-ot.jp) ※演題応募用のメールアドレスではありません。

※演題応募用メールアドレスはこちら→[kccot2nd-entry@kana-ot.jp](mailto:kccot2nd-entry@kana-ot.jp)

## スポットライト～OTの生き方～

# 介護支援専門員 編

今年度は「地域で活躍するOT」をテーマとし、第2弾は地域包括支援センターで管理者兼主任介護支援専門員をしている方にスポットを当てます。現在のフィールドで働くに至るまでの想いや実践内容、やりがい等を綴ってくれました。

### 地域とつながっていくこと ～OTとして、介護支援専門員として～

地域包括支援センター湘南鎌倉 宮谷 清美さん



私は現在、鎌倉市の地域包括支援センターで管理者兼主任介護支援専門員として従事しております。OTとしては免許取得後、他県の総合病院に勤務し、身体障害全般のリハビリテーションを経験するとともに、地域に積極的に出向き、予防教室の開催やデイケアや訪問リハビリ、また脳卒中やパーキンソン等の会の係りなども経験いたしました。地域医療や地域リハがまだ十分に確立されていない状況の中、地域とふれ合う機会をたくさん頂いたことが、今の私の原点になっているのだと思います。

1995年に神奈川県現在の病院に移ってからは、訪問リハビリを中心に行っていました。この頃はまだ措置の時代でしたので、複数のサービスが入っていても、共に支援していく一体感は少なかったと思います。そこに違和感があり、何かが足りないと感じていた頃に介護保険がスタートし、マネジメントの中心的な役割を担う介護支援専門員が誕生したのです。私は多職種がチームとなりご利用者、ご家族の望む生活の実現に向けてマネジメントを行う介護支援専門員の仕事をやってみたくらい、2000年に同法人の居宅介護支援事業所で働くようになりました。

介護支援専門員として多くのケースと関わらせていただく中でご利用者、ご家族の気持ちに寄り添いながら、住み慣れた地域でその方がどのような生活を望まれるのか、主人公はご利用者であり、多職種皆で支えていく大切さを学びました。それと同時に認知症や老老介護、虐待、経済的困窮など制度だけでは十分に解決できない困難なケースを地域でどのようにサポートしていくのか、私の中での新たな課題が出てきました。

そのような中、2005年に介護保険法改正によって地域包括支援センターが誕生したのです。私は主任介護支援専門員として同法人の地域包括支援センターの立ち上げから携わり、現在に至っております。地域で高齢者を支

えるシステムの中核機関として、まずは地域を知り、顔の見える関係づくりを大切にしながら、日々さまざまな活動しております。2015年の改正では、地域包括ケアシステム構築の手段の一つとして、地域ケア会議が介護保険法で制度的に位置づけられました。地域包括支援センターが主体となり警察、消防、医療、介護従事者、行政、家族、自治町内会長、民生委員等が集まり、個別のケースについて援助方針を検討していく場が地域ケア会議となります。現在この会議を積極的に開催し積み重ねているところです。私が担当しているある地域では、一人暮らしの認知症の方の地域ケア会議を開催したことで、地域住民の認知症への理解が少しずつ深まり、そして認知症を地域の問題として捉えてくださるようになってきました。このことは、認知症になっても地域で暮らしていく限界点を高めることにもつながっていくのです。地域によって温度差もありますが、地域の課題を皆で共有できたときは、この仕事をしていて一番やりがいを感じる時です。

2025年問題はすぐそこにきています。

高齢者の生活を地域で支えていくために、地域のさまざまな社会資源がつながっていく多職種連携体制をつくっていく必要があります。今リハビリテーション専門職に求められていることとして、「単に高齢者の運動機能や栄養状態といった心身機能の改善だけではなく、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、それによって一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組みを支援して、QOLの向上を目指す」こととなっています。新しい介護予防事業への参画、地域ケア会議や認知症初期集中支援チームへの参画などOTの役割が広がり、今地域では皆さまの力を必要としています。地域包括ケアシステムはみんなで作って上げていくものです。フィールドは違いますが、私は皆さまと地域をつなぐ架け橋となっていきたいと思っております。

### あとがき

今回は、地域包括支援センターでさまざまな社会資源と連携体制を取りながら、高齢者の生活を地域で支えていくために奮闘している方にスポットを当てました。いかがだったでしょうか。今後も特色ある取り組みをしているOTさんを集めていきたいと思っております。ご期待ください！

皆さまからのご感想やご意見を募集しております。県士会福利部(fukuri@kana-ot.jp)まで是非お寄せください。(なおこの記事は県士会WEBサイトにも掲載していますので、そちらもご覧ください)

(文責：福利部 スポットライト班 班長 松岡太一)

# ニュージーランド学会 3 人男旅 — 前編 —

北里大学病院 リハビリテーション部 神保 武則



2015年9月に4年に一度の第6回アジア太平洋作業療法学会（Asia Pacific Occupational Therapy Congress: APOTC）が行われた。参加した神奈川県士会理事は私を含め3名の構成。錠内会長と澤口副会長。我々3人が赤道を越え、遙か南半球にあるニュージーランドのロトルアという場所に辿り着いた。

学会が開催されるロトルアは火山地帯で至る所に温泉が湧き出ている。そのため会場の目の前にある湖からは箱根大涌谷と同じ硫黄の匂いが鼻を衝く。WFOT2014の成功を横浜で経験した我々が会場に入り、まず目にするのは「どうだ！4年に1度の国際学会だぞ！」という壮大なイメージをもつ看板があると思いきや、“学会やってます”程度のシンプルなサインであった。とりあえず受付を済ませて会場に入る。ヒトキワ大きな機器展示会場には、ずらりと並んだリハビリ関連機器、その傍らにはポスター展示を設置している。比較的日本人作業療法士の臨床疑問をテーマにした演題や基礎研究のポスターが目立った。他国の演題は独特の考えやコンセ



プチュアルなものが多いイメージがあり、国々による作業療法の取り組みの違いが感じられる経験となった。開会式（Opening ceremony）には間に合わなかったが、ニュージーランドのマオリ文化に触れた踊りが披露され大変賑わったようである。この折角の機会にマオリショーを見逃したのは、痛恨の極みであり、帰国する前までにこの心情を晴らす旅に後々出かけることとなった。この話は機会があればどこかで話したいものだ。さて、話は尽きないが先に進む。

WFOTの会長であるMarilyn Pattisonと再会したのは、彼女の基調講演においての世界の動向とWFOTの意義というテーマで開催されたセッションである。実はラウンドテーブル discussion であり、我々一つのテーブルに陣を構え参加した。Marilyn WFOT 会長が提案する課題に対して、各テーブルで話をまとめ発表するスタイルだ。周りには日本人らしい方々の姿が見当たらない。Marilyn 会長自身が壇上から降りてマイクを持ち各テーブルにインタビューしていく。仕方がないので拙い英語で「Here this table we call “team Japan”！」と滑りだし、WFOT 2014 で使用していた「Team Japan」を思い出した言葉に、会場に参加している各国の代表者たちからは、笑顔がホトバシリ、朗らかな雰囲気を出したマイクパフォーマンスがなんとかできた。

議題は、世界中のOTはどこに向かうのか。それは各国が様々な状況下において、支援・協働するパフォーマンスがとても重要であることは周知の事実として取り上げられ、WHOをはじめ国連やUNICEFとも手を取りあっているWFOTの活動報告も紹介された。ただ、先進国であり世界第二位の作業療法士数を誇る日本は、残念ながらどのWFOTプロジェクトにも参画していないという事実を、衝撃的にも知る機会となった。Marilyn 会長のセッション終了時、実は同セッションに参加していた中村春基 JAOT 会長も同感の様子で、この事実をどう受け止めるべきか、日本としての立ち位置を再検討すべき課題としても触れることとなった。『他国にいるからこそ味わえる自国の状況』を目の当たりにする、何とも言い難い気持ちにさらされた。

—— 後編へつづく（次号予定）



# 各部からの報告

## 地域リハビリテーション部

### 「地域リハビリテーション人材育成研修会」

今年度より地域リハビリテーション部で生涯教育推進事業（県委託事業）として「地域リハビリテーション人材育成研修会」を平成 27 年 10 月 25 日に開催しました。

内容としては、大庭潤平先生（神戸学院大学、OT 協会理事）より OT 協会が取り組んでいる生活行為向上マネジメントの経緯や実践場面、山口智晴先生（群馬医療福祉大学）より、前橋市で取り組んでいる認知症初期集中支援チームについてご講義をいただいております。

参加者は 34 名で、内訳は学生から 30 年目まで幅広い方に参加していただいております。現在、地域で従事されている方や地域包括ケアシステムを向えるのに当たり地域の実情を学びたくて参加させていただいております。

午後には、認知症をテーマにグループワークを行い参加者同士で各地域での認知症の取り組みなど情報を共有いたしました。参加者からは「過ごしやすい地域社会について、様々な人の意見を聴くことができた。自身の考え方の幅が広が

た。」という感想をいただいております。神奈川県内で作業療法士が地域に出でいけるように研修会を今後も継続していきたいと考えております。



大庭潤平 OT から生活行為向上マネジメントを講義

### 「神奈川県訪問リハビリテーション実務者研修会 2015」



社会資源の活用を社会福祉士青木昌子氏から講義

平成 27 年 11 月 14 日～ 15 日の 2 日間で開催されました。神奈川県理学療法士会および言語聴覚士会と共に平成 22 年度より開始した「神奈川県訪問リハビリテーション実務者研修会」も今年で 6 回目となりました。当研修会は全国の都道府県で開催されており、訪問リハの質を担保する目的で毎年 3 協会から指定される科目を含め 10 時間以上の研修時間が設定されています。昨年度からは 3 士会が構成団体となり「神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会」が主体

となり当研修会を開催しております。

内容としては、社会資源の活用や活動と参加、フィジカルアセスメントや住環境整備についてなど盛り沢山の講演をいただき学ぶことができました。POS 併せて 80 名のご参加をいただきました。訪問リハビリテーション従事者は増加しておりますので、神奈川県内の質を高める取り組みを今後も継続的に実施していきたいと考えております。



フィジカルアセスメントを渡辺雅子医師から講義

### 〈地域ケア会議に出席された会員の方へ〉

地域包括ケアシステム構築に向けて各市町村の動きが徐々に始まっております。その一つに地域ケア会議がありますが、既に地域ケア会議に出席経験のある会員がいらっしゃいましたら、地域リハビリテーション部（chiikireha@kana-ot.jp）にご連絡をいただくと幸甚に存じます。これは情報収集を目的としたもので、今後の県士会活動に反映したいと考えております。ご協力よろしくお願いたします。

（文責：地域リハビリテーション部 遠藤）

## 教育部

県士会ウェブサイトから  
質問ができます！

### 連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しづつお伝えしています。

さて、今年も始まりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

まだまだハレのお正月気分の延長かもしれませんが、少しずつの平常に戻していきましょう。

今回は今年度のまだ間に合う生涯教育制度関連の研修会をご案内します。

#### 1. 今年度の生涯教育制度関連の研修会開催情報

\*申し込み等詳細は県士会ウェブサイト、これまでの県士会ニュースチラシをご参照ください。

また、締め切り後も受付可能なものもありますのでお問い合わせ

合わせください。

#### ①現職者選択研修

・精神障害領域 2016年1月31日(日)  
ウイリング横浜

・身体障害領域 2016年2月11日(木・祝)  
ウイリング横浜

#### ②現職者共通研修

テーマ：「事例検討」・「事例報告」

2016年2月21日(日) ウイリング横浜

\*事例報告検討会として実施します。

研修会、生涯教育制度に関して何でもご質問ください。  
県士会ウェブサイトからも質問ができます。

教育部 奥原孝幸 (神奈川県立保健福祉大学)  
045-828-2738 (直) / kyoiku@kana-ot.jp

## 福利部

### ～となりの職場見学シリーズ～

#### 『低周波刺激療法を併用した上肢・手指訓練の実際！』

みなさん、臨床場面で物理療法機器を使った事はありますか。機器はあるのに使わずじまいではありませんか。

また、実際に導入しようと検討しても、低周波機器ってなんだろう？どの機器を購入すればいいのだろうか？と悩んでいる方もいると思います。

そんな、あなたのために！今回は臨床場面で積極的に低周波（物理療法）を導入されている、イムス横浜狩場脳神経外科病院リハビリテーション科技士長の福留大輔先生に、明日

からの臨床ですぐに使える方法を教えていただきます。

3種類の電気刺激装置の紹介と電気に関する基礎知識講習、そして実際の訓練方法などを見て・聞いて・触って体験して頂きます。

開催日時は3月中旬を予定しています。詳細は県士会WEBサイトに掲載します。たくさんの方々の参加をお待ちしています。

(文責：福利部 職場見学会班 班長 池嶋孝二)

## 研修会案内

### 2015年度 脳損傷による高次脳機能障害に対する作業療法講習会

日 時：2016年2月6日(土)、7日(日)

場 所：神奈川県総合リハビリテーションセンター

U R L：http://tbiot.wordpress.com

### 実践的！看取りケア研修会 2016 (東京会場)

日 時：2016年2月14日(日)

場 所：中野サンプラザ

U R L：http://www.tsuusho.com/mitori/

### 第40回三浦半島作業療法研究会

日 時：2015年2月19日(金)

場 所：神奈川県立保健福祉大学

U R L：http://miuraot.kenkyuukai.jp/event/

### 心臓血管外科術後の早期離床 ～急性期における介入戦略とその展望～

日 時：2016年2月21日(日)

場 所：横浜市社会福祉センター

U R L：http://www.rishou.org/

### あなたの力でこんなに良くなる！ 一歩先のMobi-Careをマスターしよう

日 時：2016年2月27日(土)

場 所：埼玉健産連研修センター

U R L：http://www.rishou.org/

### ALSコミュニケーション支援講習会

日 時：平成27年3月5日(土)

会 場：横浜リハビリテーション専門学校

E-mail：ken-ot@kana-ot.jp

詳細は県士会ホームページに掲載



# 生活行為向上マネジメント

## 生活行為向上マネジメントの流れとツールの紹介

生活行為向上マネジメント (Management Tool for Daily Life Performance) は作業療法士の臨床思考過程を見える化したツールであるという話は前回掲載いたしました。ツール (= 道具) は以下のシートで構成されています。

### メインシート

- ①生活行為聞き取りシート
- ②生活行為アセスメント演習シート
- ③生活行為向上プラン演習シート

### サブシート

- ④興味関心チェックシート
- ⑤生活行為課題分析シート
- ⑥生活行為申し送り表

図①「生活行為向上マネジメントの流れ」にもある通り、まず①生活行為聞き取りシートにより、対象者の生活行為の目標を聞き取ります。前回も掲載した通り、生活行為向上マネジ

メントが今までの作業療法のアプローチと異なる点は、対象者の「やりたい!!」と思っている生活行為を最初の目標とすることです。

筆者の個人的見解では、この目標を聞き取れた時点で生活行為向上マネジメントの6~7割が終了できたと言っても過言ではないかと思えます。それほどこの目標の聞き取りには面接技術が必要になるということです。

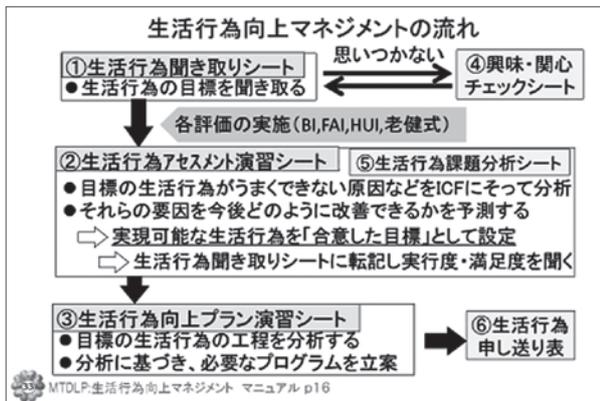
対象者もある程度の信頼関係を構築しないと本心である生活行為を語ってはいただけないかと思えます。ですから、本人への聞き取りと同時に、今までの生活歴の情報も重要になってきます。

またご家族への生活行為の目標の聞き取りも重要です。ご本人だけへの目標聞き取りだけではなく、ご家族への目標聞き取りにより、生活行為の実現可能性を確認することができ、またご本人とご家族のギャップを調整する必要性の有無や、調整の方法を検討するきっかけを確認することができます。

(文責：木村修介)

## 目次

### 生活行為向上マネジメントの流れとツールの紹介 part2



図① 生活行為向上マネジメントの流れ

### 生活行為聞き取りシート

相談者	年齢	歳	性別	男・女
-----	----	---	----	-----

記入者名: \_\_\_\_\_ (職種)

認知症や寝たきりを予防するためには、家事や社会活動などの生活行為を維持し、参加することが重要です。

- そこで、あなたが困っているまたは問題を感じている(もっとうまくできるようになりたい、あるいは、うまくできるようになる必要があると思う) 事柄で、良くなりたい、改善したいと思う事柄がありましたら、2つほど教えてください。
- もし、生活行為の目標がうまく思い浮かばない場合は、興味・関心チェックリストを参考に確認してみてください。
- 生活行為の目標が決まりましたら、次のそれぞれについて1~10点の範囲で思う点数をお答えください。
  - ①実行度・左の目標に対して、どの程度実行できている(頻度)と思うか、十分実行できている場合は実行度10点、まったくできない場合は実行度1点です。
  - ②満足度・左の目標に対して、どのくらい満足できている(内容・充実感)と思うか、とても満足している場合は満足度10点、まったく不満である場合は満足度1点です。

生活行為の目標	自己評価	初回	最終
□A(具体的に生活行為の目標が書える)	実行度	/10	/10
目標1	満足度	/10	/10
合意目標:	達成の可能性	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
□A(具体的に生活行為の目標が書える)	実行度	/10	/10
目標2	満足度	/10	/10
合意目標:	達成の可能性	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

-----

### ご家族の方へ

ご本人のことについて、もっとうまくできるようになってほしい、あるいはうまくできるようになる必要があると思う生活行為がありましたら教えてください。

生活行為向上マネジメント

本シートの著作権(著作人帰属、著作権放棄)は一般社団法人日本作業療法士協会に帰属しており、本シートの全部又は一部の無断使用、複製・複製、転載、記録媒体への入力、内容の改変等は著作権法上の例外を除いて禁じます。

図② 生活行為聞き取りシート

# 求 人 案 内

作業療法士  
急募

医療法人社団 博奉会  
相模ヶ丘病院

診療科目：精神科・心療内科  
 募集人員：若干名 常勤  
 待 遇：当院規定により  
 昇給年1回。賞与年2回（昨年度実績）  
 交通費全額支給、退職金規程有、社会保険完備  
 給 与：239,000円～  
 （諸手当含む。家族手当等当院規程による。）  
 勤務時間：9：00～17：00  
 （部署により12：00～20：00勤務もあり）  
 休 日：4週7休、有給休暇、夏期休暇（3日）、  
 年末年始（5日）、特別休暇等  
 応募方法：随時電話連絡の上、履歴書（写貼）持参又は郵送  
 下さい。

## 問い合わせ先

〒252-0335 神奈川県相模原市南区下溝4378番地  
 小田急線 相武台前駅から送迎バスあり  
 JR相模線 下溝駅から徒歩10分  
 TEL：042-778-0200  
 URL：http://www.hakuhou-kai.or.jp



作業療法士  
募集

三軒茶屋リハビリテーション  
クリニック

在宅生活における様々な課題を解決し、ご本人のやりたい事に対し、主体的に参加できるように地域活動も視野に入れてサポートしています。

募集人員：常勤1名  
 採用条件：経験者募集（臨床経験3年以上）  
 訪問リハビリ経験の有無は問わない。  
 待 遇：当社、規定による。経験年数を考慮する。賞与は  
 年2回支給（6・12月）。  
 業務内容：訪問理学・作業療法を中心としたクリニックです。  
 勤務時間：8：30～17：30  
 休 日：土日・祝日、夏季休暇、年末年始  
 応募方法：電話連絡の上、履歴書の郵送をお願いします。  
 （電話連絡は17：30以降）

## 問い合わせ先

〒154-0002 東京都世田谷区下馬2-20-11 小畑ビル101  
 TEL：03-5787-6110  
 担当：大島 豊  
 アクセス：東急田園都市線 三軒茶屋駅 徒歩10分

作業療法士  
募集

東京リハビリ訪問看護  
ステーション

OT 募集！江戸川・葛飾で勤務可能な方歓迎！  
小児も担当可能です！

勤務地：都内11拠点よりお選びいただけます。詳しくは  
HPをご覧ください。  
 募集人数：未定  
 給 与：常勤：30万円（保証給）＋訪問件数に応じた  
 歩合給、非常勤：歩合制  
 ※年収500万以上も可能です。  
 休 日：原則週休2日制（ご自身で曜日の選択可能）  
 採用条件：年齢・経験不問  
 待 遇：社会保険完備、退職金制度あり

## 問い合わせ先

東京都千代田区神田小川町1-8-8 神田小川町東誠ビル6階  
 TEL：03-5577-5915  
 Mail：jinji@tokyo-rehabili.co.jp  
 HP：http://www.tokyo-rehabili.co.jp

## 訃報



2015年11月21日(土) 当会の会員である中西浩司さんが死去されました。中西さんは当会におきましては學術部の部員として県士会の活動に多く関わることとなり、2007年より學術部担当理事、そして2013年より副会長として県士会の旗振り役を担い、2015年からは副会長として2期目を迎えておりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

(文責：会長 鏡内広之)

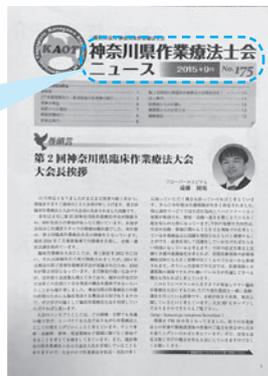
『神奈川県作業療法士会ニュース』

ニュース掲載作品

# 大募集!!

例えば…

応募していただいた作品の中からランダムに一作品ごと県士会ニュースに掲載させていただきます♪



OT  
作業療法  
Occupational Therapy



『神奈川県作業療法士会ニュース』では、2015年度5月号(179号)に向けニュース掲載作品を広く応募します。OTの皆様が病院・施設・地域で関わっておられる対象者の方々に作品募集のご紹介をいただき、どしどしご紹介いただければ幸いです。(広報部 ニュース班 一同)



お正月!とっていたら2016年がはやくも1か月過ぎました~。みなさんこの間に何が出来ましたか??年をとるごとに1年過ぎるのがあっという間…。日々仕事や家庭に忙殺されがちになるからでしょう。来年の今頃にもう1年経っちゃった…。なんてまた言わないように、今年こそ仕事も家庭も趣味も本当に自分がやりたいことをしていきたいと思えます。そうすれば来年、この1年はこれをやったね!と自信を持って言えるでしょうから。周りの目なんか気にする前に、自分の心に嘘はついてはいけません。みなさんと共に2016年も満足できる年にしましょう!

(ぴぐめい)

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース** <177号>2016年1月発行(年6回発行)

発行責任者 鏡内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)

山岡 洸/桜井 大和 (佐藤病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX: 045-663-5997

月火水木金 10:00~15:00 メールアドレス: jimuku@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>

